

慧修会

ファイナルチェック

東海大学 化学

問題

リンと硫黄に関する記述として正しいものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 赤リンは空气中で自然発火するため、水中に保存する。
- ② 単斜硫黄と斜方硫黄は、いずれも環状構造の分子 S_8 からなる。
- ③ リンと硫黄は、いずれも地殻中に単体として存在する。
- ④ リンと硫黄は、いずれも共有結合の結晶である。
- ⑤ リンの酸化物と硫黄の酸化物は、いずれも常温・常圧で固体である。



東海大学では無機化合物の正誤問題が多く出題されています。最後の1点のために、ファイナルチェックをしておこう！

正解 ②

解説

- ① 赤リンは毒性の少ない暗赤色の粉末、黄リンは有毒なろう状固体である。黄リンは自然発火するため、水中で保存する。
- ③ 硫黄の単体は火山帯などで天然に産出するが、リンの単体は産出しない。
- ④ 斜方硫黄、単斜硫黄、黄リンは分子結晶、赤リンやゴム状硫黄は無定形固体である。
- ⑤ P_4O_{10} は常温・常圧で固体だが、 SO_2 は気体である。



医学部受験
専門予備校

慧修会



慧修会の専用
HPはこちら